

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)									
事業名	技術士法施行			担当部局庁	科学技術・学術政策局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和32年度			担当課室	基盤政策課			基盤政策課長 板倉周一郎	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅶ-1. 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	技術士法			関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	技術士法に基づく技術士制度の着実な実施及び諸外国との技術者資格の相互承認の実現を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・APECエンジニア調整委員会へ出席し、諸外国との技術者資格の相互承認に係る国際基準等を検討 ・2国間相互協定締結に向けた調査検討委員会の開催及び2国間相互協定調整連絡会議への出席 ・文部科学大臣の行う技術士試験の合格証の印刷								
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	0	0	0	—			
		繰越し等	0	0	0	—			
		計	2.1	1.7	1.8	(12,642) *「科学技術に関する人材の育成・活躍促進及び理解増進」として他の科学技術人材育成事業等と整理統合	(13,958) *「科学技術に関する人材の育成・活躍促進及び理解増進」として他の科学技術人材育成事業等と整理統合		
	執行額		0.9	0.5	1.1				
	執行率(%)		42.8%	27.7%	58.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	技術士登録者数の過去5年の平均伸び率(1.04)を今後の目標値としている。			成果実績	人	65483	68546	71797	88000
				達成度	%	74.4	77.9	81.6	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	技術士第二次試験年度別合格者数。			活動実績 (当初見込み)	人	4143	4269	4117 (4000)	— (4000)
単位当たりコスト	437(円/第二次試験合格者数)			算出根拠	平成22年度予算額1.8百万円÷平成22年度第二次試験合格者数4117人				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
					平成22年度限りの経費				
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘事項を踏まえ、科学技術系人材の育成に向けて効果的な連携が図られるよう、APECエンジニア調整委員会への出席状況など予算執行の実績を的確に把握し予算を縮減しつつ、平成23年度から他の科学技術系人材育成事業とともに「科学技術に関する人材の育成・活躍促進及び理解増進」へ整理統合した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>「科学技術に関する人材の育成・活躍促進及び理解増進」(H23～)については事業番号0028のシートを参照。</p>			

A. 文部科学省
1. 1百万円

諸謝金 0. 1百万円
職員旅費 0. 1百万円
外国旅費 0. 7百万円
庁費 0. 2百万円

} を含む。

事業概要
・APECエンジニア調整委員会へ出席し、諸外国との技術者資格の相互承認に係る国際基準等を検討
・文部科学大臣の行う技術士試験の合格証の印刷

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.文部科学省			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金	0.1			
職員旅費	会議出席旅費	0.1			
外国旅費	会議出席旅費	0.7			
庁費	会議出席登録料、合格証印刷	0.2			
計		1.1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0